

百姓倶楽部通信

2007年
第1号

発行者 農事組合法人 百姓倶楽部

〒304-0004 TEL0296-44-0880
茨城県下妻市大木1028-1

新しい組合員さんが加入しました

八千代町で大規模に野菜を栽培している藤木さんが、百姓倶楽部に加入しました。

藤木さんは、レタスやチンゲン菜などの葉モノ野菜や、ナスなどの果菜類から、メロンなどの果物まで、たくさんの農作物を栽培しています。

カスミ下妻店をメインに出荷しますので、皆さん是非お買い求め下さい。藤木さんの農地では、百姓倶楽部の堆肥が使用されています。



安心・安全でおいしい国産農作物をどうぞ！

いばらき食品リサイクル研究会の 第1回堆肥化分科会が開催されました

分科会では、堆肥の製造技術の研究や、堆肥の使用に関する情報共有などの活動を予定しています。

今回は、第1回ということで、施設見学を兼ねて会員間の情報交換が行われました。

いばらき食品リサイクル研究会では、地域の食品循環資源の有効活用を目指し、様々な活動を行っています。活動の詳細などは、ホームページをご覧ください。

<http://www.cube2003.net/~ibaraki/>



「収穫祭」が開催されました

秋風の吹き始まった9月23日(日曜)に、恒例の「百姓倶楽部の収穫祭」が開催されました。

子供を中心に、大人の方にも農業体験をしていただけるという、食育イベントです。

毎年たくさんの方にご参加頂き、今年も関東一円から、60名ほどの皆様が参加して、親子の共同作業で農作業を楽しみました。

稲刈りの後は、出来立ての新米や、安心・安全でおいしい国産農作物を食べる「バーベキューパーティー」で、

豊かな大地が育てた秋の実りをおいしく食べました。

茨城県の銘柄豚「奥久慈ポーク」など、百姓倶楽部の関係事業者の方からも、おいしい差し入れもたくさんいただき、大変盛り上がりました。



旬の食材

白菜 (アブラナ科)

白菜は、地中海沿岸が原産とされ、日清・日露戦争に従軍した兵士が中国などから持ち込んだのが現在の白菜だといわれています。

秋も深まると、白菜をたっぷり使ったナベが、おいしい季節です。白菜は、植物繊維が豊富で、シンプルな味ですから、どんな料理にも良くあいます。

薄めの味付けが、たくさん食べられて、体にも良いようです。

これから寒くなると、コタツでナベに熱燗、でしょうか。



「百姓倶楽部通信」発行に寄せて

農事組合法人百姓倶楽部
代表理事 石島和美

百姓倶楽部の仲間たちが、堆肥による自然的農法を目指して集まるようになってから、10年ほどの歳月が経ちました。

お陰さまで、下妻堆肥センターが開設されて5年が経過し、ようやく安定した自然的農法を実践できるようになったと感じています。

カスミさまや日本フードサービス協会さまをはじめ、関係者の方々のご協力・ご協力なしでは、ここまで活動を続けることは出来なかったことと思ひ、厚く御礼申し上げます。

当組合では、今後も、持続的な農業活動を目指し、堆肥を活用した土作りを行うことで、安心・安全でおいしい国産農作物を育て続けることを、お約束いたします。

自然的農法ニュース

百姓倶楽部の堆肥センターには、毎日たくさんの生ゴミが運ばれてきます。生ゴミは、余分なエネルギーを使わないで堆肥になっていきます。

堆肥は、土作りには欠かせないものです。豊かな大地がおいしい農作物を育てます。

編集後記

百姓倶楽部の活動を知ってもらうには、どうしたらいいだろうか、と考えて、「百姓倶楽部通信」が生まれました。不定期にはなりますが、なるべく毎月発行出来るように、がんばりますので、宜しくお願い致します。

百姓倶楽部のホームページはこちらです。

<http://www.cube2003.net/~kurabu/>